

コンサルタント等契約(業務実施)(12月14日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 11月2日以降の公示、12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	22a00825000000	調達件名	インドネシア国ジャカルタ首都圏総合洪水対策事業協力準備調査【有償勘定技術支援】		
	公示日(予定)	2023年1月11日	担当部課	東南アジア・大洋州部東南アジア第一課	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】協力準備調査(有償資金協力)
	履行期間(予定)	2023年3月13日 ~ 2025年3月14日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】ジャカルタ首都圏では、5年に1度程度の頻度で大規模洪水が発生しており、直近では2020年1月にジャカルタ特別州内の約2割が浸水し、これによる死者数は61人、避難者数は最大446286人に上った。これを受け、公共事業・国民住宅省は、ジャボデタベック地区における既存の洪水対策マスタープランのレビュー及び優先事業の検討をJICAへ依頼するとともに、中期対外借入計画2020-2024に、ジャカルタ首都圏における総合洪水対策事業がリストアップされた。本事業は、人口及び資本の蓄積、気候変動リスクにより洪水対策の必要性が高まっているジャカルタ首都圏において同対策を実施するものである。</p> <p>【目的】本事業は、ジャカルタ首都圏において総合洪水対策を実施することにより、対象地域の洪水被害の軽減を図り、もってジャカルタ首都圏における経済・産業の持続的な発展に寄与することを目的とする。本調査は、本事業にかかる目的、概要、事業費、事業実施体制、運営・維持管理体制、環境および社会面の配慮等、我が国有償資金協力事業として実施するための審査に必要な調査を行うことを目的として実施するものである。</p>			留 意 事 項	<p>【業務担当分野一覧・そのうちの評価対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 業務主任者/治水計画(評価対象) (2) 排水計画(評価対象) (3) 水文・水理解析(評価対象) (4) 施設設計(トンネル・立坑構造) (5) 施設設計(河川、取水・排水構造) (6) 機械・電気計画 (7) 調達計画・施工計画・安全対策計画 (8) 積算 (9) 運営・維持管理計画 (10) 環境社会配慮(自然環境) (11) 環境社会配慮(社会環境) (12) 経済分析 (13) 非構造物対策 <p>【人月合計】80人月</p> <p>プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。(その他、参考資料名、国際約束締結時期見込み、等必要な情報を追記してください)。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(12月14日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 11月2日以降の公示、12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	22a00806000000	調達件名	カンボジア国物流システム改善プロジェクトにおける鉄道／農産品輸送状況調査（一般競争入札（総合評価落札方式 - ランプサム型））		
	公示日（予定）	2023年1月11日	担当部課	社会基盤部都市・地域開発グループ	業務種別	業務実施契約－【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト
	履行期間（予定）	2023年3月1日 ～ 2023年5月31日	選定方法	一般競争入札（総合評価落札方式）		
業 務 内 容	<p>カンボジアはメコン地域の南部経済回廊上の要衝に位置し、グローバル・サプライチェーン拡大の中で、政府は地域の連結性を向上すべく南部経済回廊やシハヌークビル港等の整備を進めている。JICAはカンボジア政府の要請を受け、2018年より物流MPの策定、組織横断的な実施枠組みの整備、優先事業の実施・調整、評価・モニタリングの体制構築に係る技術支援を行うことにより「物流システム改善プロジェクト」を実施している。その活動を行う中で、カンボジアの輸出農産品である米やトウモロコシの輸出促進のため輸送網の強化に向けた鉄道を含むモーダルシフトについて検討すべく、鉄道北線、輸出農産品物流の現状及び課題の整理・把握と、改善提案が期待されている。</p> <p>本調査は、輸出用作物である米、トウモロコシ等の物流、カンボジアの既存鉄道による貨物輸送、国際列車運行、における現況と課題を把握し、政府の短中期的における実施事項を整理・提言する。</p> <p>【調査内容】</p> <p>（1）鉄道分野</p> <p>①既存資料・各種統計の分析・ヒアリング等による現状・課題の把握。</p> <p>②北線・南線の改善計画・投資計画の課題等の整理。</p> <p>③北線でのパイロット輸送の計画・実施</p> <p>④現状の輸送サービスレベル把握とトラック輸送との比較分析。</p> <p>⑤タイ鉄道貨物利用促進策の整理と、カンボジアへの示唆の取りまとめ。</p> <p>⑥タイ・カンボジアの2国間の協定の状況や越境輸送の課題の整理。</p> <p>（2）輸出農産品の物流分野</p> <p>①輸出農産品の輸送現況と課題の整理・把握。</p> <p>②トラック輸送と鉄道、内陸水運輸送のコスト削減効果の検討。</p> <p>④トラック輸送から鉄道輸送または内陸水運輸送への転換に必要な条件整理。</p> <p>⑤輸出農作物のトラック輸送の課題と改善策の整理。</p>			留 意 事 項	<p>【業務担当分野一覧】</p> <p>1) 業務主任者／物流政策／鉄道（3号）（評価対象者）</p> <p>2) 農産品輸送（3号）</p> <p>【人月合計】</p> <p>（全体）3.00人月（現地2.0人月、国内1.0人月）</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(12月14日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 11月2日以降の公示、12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	22a00829000000	調達件名	カンボジア国炭素中立社会に向けたクリーンエネルギー転換ロードマップ策定プロジェクト		
	公示日(予定)	2023年1月11日	担当部課	社会基盤部資源・エネルギーグループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】開発計画調査型技術協力(技術協力プロジェクト)
	履行期間(予定)	2023年3月30日 ~ 2025年3月7日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】今世紀半ばのカーボンニュートラル達成を目指すカンボジアは、今後の電源開発について、太陽光発電の拡大に力をいれるほか、既に計画中のものを除き、石炭火力発電の新設を許可しない方針を打ち出している。他方で、カーボンニュートラルの達成のためには、これら方針に加え、新技術導入検討などを含むエネルギー・トランジション・ロードマップを策定する必要がある。</p> <p>【目的】カンボジアにおいて、エネルギー・トランジション・ロードマップの策定を支援する。ロードマップでは、石炭火力発電へのバイオマス混焼やガス発電といった技術は確立されているもののカンボジアでは未導入なものに加え、水素・アンモニア、二酸化炭素の回収・利用・貯留等の、現在技術開発段階のものについても、その特徴や現時点での実用化・コストの見込み等を踏まえ、導入についての検討を行う。</p> <p>【活動内容】①既存のエネルギー関連政策/計画のレビューと調査のための前提条件の確認 ②2050年を目途とする最終エネルギー消費予測の作成 ③新技術導入を踏まえた複数のエネルギー・トランジションシナリオの準備 ④上記③から選定したシナリオに基づくロードマップ及びアクションプランの作成 ⑤新技術のうち導入が最も早いことが予想されるガスの利活用支援</p>			留 意 事 項	<p>【業務担当分野一覧・そのうちの評価対象者】 業務主任者/エネルギー・トランジション戦略策定(評価対象)、エネルギー需要想定(評価対象)、ガスマーケット分析(評価対象。対象国経験・語学評価なし)、低炭素戦略、環境社会配慮・気候変動、エネルギーセキュリティ検討、エネルギーデータ管理、省エネ・需要側管理、電力セクター開発計画、石炭火力発電の低炭素化検討、火力発電に関する新技術紹介、ガス保安規制、天然ガスインフラ設備計画</p> <p>【人月合計】 全体約55人月(国内:25人月、現地:30人月) ・12月下旬RD締結予定 ・若手育成加点の適用予定</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(12月14日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 11月2日以降の公示、12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	22a00812000000	調達件名	スリランカ国起業とビジネス、リーダーシップ及びネットワークの強化を通じた女性の経済的エンパワメント促進プロジェクト		
公示日(予定)	2023年1月11日	担当部課	ガバナンス・平和構築部ジェンダー平等・貧困削減推進室	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト	
履行期間(予定)	2023年4月3日 ~ 2027年5月31日		選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】スリランカ国はCOVID19の大流行と近年の経済危機の中で生計を維持することが困難な状況にある女性が多く、女性・子ども・社会的エンパワメント省女性局の下に組織された女性開発官(WDO)の能力強化及び女性組織WASの活性化を通じた女性の経済的エンパワメント促進が喫緊の課題となっている。</p> <p>【目的】本事業は、アンパラ県とモナラガラ県において、起業とビジネス、リーダーシップ及びネットワークの強化を通じた女性の経済的エンパワメントのパイロット活動の実施及びモデルの構築、並びに女性省の実施能力強化を通じ、同モデルの制度化を図り、もって同モデルの他県への普及に寄与するもの。</p> <p>【活動内容】</p> <p>(1) 上位目標：起業とビジネス、リーダーシップ及びネットワークの強化を通じた女性の経済的エンパワメント促進モデルが事業対象県以外でも採用される。</p> <p>(2) プロジェクト目標：起業とビジネス、リーダーシップ及びネットワークの強化を通じた女性の経済的エンパワメント促進モデルが制度化される。</p> <p>(3) 成果</p> <p>成果1対象県における女性の起業とビジネスの振興に向けたリソースが整理される。</p> <p>成果2パイロット活動を通じて、女性の起業とビジネス、リーダーシップ及びネットワークの強化に向けた経験や結果が検証される。</p> <p>成果3パイロット活動の実施を通じて、起業とビジネス、リーダーシップ及びネットワークの強化を通じた女性の経済的エンパワメント促進モデルが構築される。</p> <p>成果4女性の経済的エンパワメント促進モデルの実施に向けた女性局の能力と体制が強化される。</p>			留 意 事 項	<p>【関連報告書公開情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家活動報告「スリランカ 紛争・災害影響地域における貧困女性のエンパワメント推進アドバイザー」 <p>【業務担当分野一覧・※そのうちの評価対象者】業務主任者・女性の経済的エンパワメント※、起業・ビジネス支援※、市場調査、食品加工、デジタルマーケティング</p> <p>【人月合計】49.0人月(現地42.0人月、国内7.0人月)</p> <p>【その他留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2022年11月23日にR/D署名済。 ・ 契約履行期間は第1期(2023年4月~2025年4月)、第2期(2025年4月~2027年5月)を想定しています。 ・ 若手育成加点適用予定。 ・ プレ公示の内容は若干の変更の可能性があります。 	

コンサルタント等契約(業務実施)(12月14日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 11月2日以降の公示、12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	22a00752000000	調達件名	フィジー国大洋州地域ナンディ・ラウトカ地区における無収水対策能力向上プロジェクト		
公示日(予定)	2023年1月11日	担当部課	地球環境部水資源グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト	
履行期間(予定)	2023年3月23日 ~ 2026年6月30日		選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 フィジー共和国西部に位置するナンディ・ラウトカ地区は、無収水率48パーセントと高い水準にある。同地区では、人口増加に伴い水需要が拡大する見込み(2013年の日平均9.6万m3に対し、2033年には14.2万m3)であり、無収水削減による給水量の確保が課題。そこで、フィジー政府は、ナンディ・ラウトカ地区の無収水削減を目的に、フィジー上下水道公社(WAF)の無収水対策能力向上を図るための技術協力を我が国に要請した。本事業では、ナンディ・ラウトカ地区において、効果的かつ実現可能な無収水削減計画の策定と実施、漏水探知、管路施工・漏水修理、検針・料金徴収に関する能力向上と、対象地域の住民に対する節水意識向上活動の実施により、同地区の無収水削減能力の総合的な向上を目指す。</p> <p>【事業内容】 1.ナンディ・ラウトカ地区における無収水削減計画の策定 2.ナンディ・ラウトカ地区におけるWAFの漏水探知能力向上 3.ナンディ・ラウトカ地区におけるWAFの配水圧力管理・管路施工・漏水修繕能力向上 4.ナンディ・ラウトカ地区におけるWAFの検針・料金請求・徴収能力向上 5.ナンディ・ラウトカ地区における住民の節水意識向上</p>			留 意 事 項	<p>【担当分野】 業務主任/無収水削減/上水道計画(評価対象者) 漏水探知技術/漏水探査研修 管路設計/施工技術(評価対象者) 顧客管理/広報/DX</p> <p>【人月合計】 国内2.5、現地53(合計55.5)</p> <p>【その他留意事項】 ・別途、長期専門家1名(チーフアドバイザー/配水管理/GIS)および短期専門家(無収水管理)が配置される予定。 ・プレ公示の内容は若干の変更可能性があります。 【RD締結状況】2023年1月上旬署名予定。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(12月14日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 11月2日以降の公示、12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	22a00118000000	調達件名	ケニア国アヘロ灌漑地区改修計画準備調査(QCBS)		
	公示日(予定)	2023年1月11日	担当部課	経済開発部農業・農村開発第二グループ	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】協力準備調査(無償資金協力)
	履行期間(予定)	2023年3月16日 ~ 2024年5月15日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景・目的】ケニア共和国(以下、ケニアという。)政府は農業を優先開発課題の一つとして位置付けており、また、コメの増産を含む食料安全保障を重点経済政策としている。コメの需要は2000年以降、年率12%増と、メイズ(1%増)、コムギ(4%増)を大きく上回る伸びで拡大している。そのため、コメ輸入量は2000年から20年間で9倍に増え(2020年は約953千トン)、2017~2019年のコメ貿易赤字は年平均約270百万米ドルに及ぶなど、コメ需要の急増に対して国内生産が追い付いていない。アヘロ灌漑地区は施設の老朽化による取水機能及び灌漑効率の低下のために灌漑面積が限定されること、加えて近年はビクトリア湖沿岸地域において気候変動に起因する湖水面の上昇、降雨パターンの変化や集中豪雨等による洪水被害が顕著になりつつあることから、コメの増産及び安定的な生産のための対応が求められている。特に、ケニア西部で発生した2020年の大洪水では、アヘロ灌漑地区はその面積(867ha)の約50%が被害を受け、約3.3億円相当の損失が出る可能性があったことから、早急に対策を講じる必要性が増している。アヘロ灌漑地区改修計画は、老朽化した灌漑施設の改修・拡張と気候変動に起因する洪水対策の堤防建設等を通じコメ増産を図るものである。</p> <p>【業務内容】キスム郡アヘロ灌漑地区において、灌漑施設の改修及び新設、灌漑ポンプ更新、及び洪水防止のための堤防建設等を行うことにより、対象地区の効率的な灌漑用水の供給及び当該灌漑地域での洪水による作物被害の低減を図り、もってコメ増産を通じた食料安全保障に寄与するもの。</p>			留 意 事 項	<p>【担当分野/評価対象者】業務主任者/灌漑排水施設計画(評価対象予定)、ポンプ整備/灌漑排水施設整備、洪水対策(評価対象予定)、水文解析/流出・氾濫解析、営農、施工計画/積算、環境社会配慮</p> <p>【人月予定】35.66人月(現地21.66人月、国内14人月)業務主任者2号、若手育成加点なし。</p> <p>【留意事項】本件契約には、調査業務用の契約約款が適用されます。※本調査では、洪水発生メカニズムの解析と対策案の検討として、以下を国内作業で行って頂くことを想定しています。</p> <p>1) インターネット等で公開されている衛星データ等各種情報を用いた対象流域の特性の把握、2) 過去の洪水と近年の降雨の状況の把握、並びに3) 現地での次期雨期の自然条件に関わる情報収集の方針・手法の検討とその準備。</p> <p>なお、洪水発生メカニズムの解析と対策案の検討について、より良い代替案があればありましたらプロポーザルにてご提案をお願いします。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(12月14日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 11月2日以降の公示、12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	22a00804000000	調達件名	南スーダン国地域開発・コミュニティ再建のための地方行政能力強化アドバイザー業務		
	公示日(予定)	2023年1月11日	担当部課	ガバナンス・平和構築部平和構築室	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力個別案件
	履行期間(予定)	2023年3月10日	～	2026年3月9日	選定方法	企画競争
業 務 内 容	<p>【背景】 南スーダンでは2011年の独立後も政治的対立に基づく衝突が続いていたが、2020年に新暫定政権(RTGoNU)が発足し、2025年に実施予定の総選挙に向けて、和平プロセスが進められている。和平プロセスを逆行させないためには、信頼される政府と共生的な社会からなる強靱な国・社会作りが重要であり、紛争によって疲弊し分断された社会を再建するため、政府と住民のインターフェースである地方行政(州及び郡)が果たすべき役割は非常に大きい。南スーダンの地方行政は、独立後の内紛や政治的な州・郡等の分割・再編の影響を受け、脆弱な体制・機能状況にあるものの、行政官の再配置や開発計画の策定など、行政機能の再開に向けた取り組みが始められている。こうした状況下、地方行政の本格的な機能再開に向け、地方行政官の能力強化、人材育成への協力が要請された。</p> <p>【目的】 本案件は、行政間の連携及び行政と住民の協働による州および郡の地方行政官の地域社会再建計画の立案・実施能力の向上を図り、もって州および郡の地方行政官が地域社会再建においてより積極的な役割を果たし、政府・住民間の信頼が醸成に寄与することを目指すもの。</p> <p>【活動内容】 (1) 最新の南スーダン地方行政制度及び州・郡政府の機能状況、他ドナーの地方行政分野の活動状況等について確認し、州・郡政府のJICA事業への巻き込みに関するインプット・助言を行う。 (2) 国別研修「地域開発・コミュニティ再建のための地方行政能力強化」の実施および同研修に参加した研修員の帰国後のアクションプランの実施、知見共有等を支援する。 (3) 現地(ジュバ)における州・郡地方行政官向けのワークショップ及び第三国研修を企画・実施する。 (4) 政府機関間(州省庁間、中央と地方、州政府間)の連携、情報共有の強化を支援する。</p>			留 意 事 項	<p>【業務担当分野】 業務主任者/地域開発・コミュニティ再建: 1名(評価対象者) 研修計画・アクションプラン: 1名(評価対象者)</p> <p>【人月合計(想定)】 計28.0人月(内訳: 現地業務23.75人月、国内業務4.25人月)</p> <p>【留意事項】 (1) 本件契約には、事業実施・支援業務用の契約の約款が適用されます。 (2) 本件契約の現地業務には、紛争影響国単価が適用可能です。 (3) プレ公示の内容は変更の可能性があります。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(12月14日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 11月2日以降の公示、12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	22a00507000000	調達件名	全世界行政分野における包括的な支援アプローチの実証研究(プロジェクト研究)(国内業務主体)		
	公示日(予定)	2023年1月11日	担当部課	ガバナンス・平和構築部ガバナンスグループ	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】調査・研究
	履行期間(予定)	2023年3月8日 ~ 2024年4月30日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景・目的】 途上国では、行政サービスを効率的かつ効果的に提供するために必要な政府のリソース(ヒト・モノ・カネ)が不足していることが一般的である。上記制約下において、各国の事情を踏まえたうえで、中央と地方政府の関係、官民の関係、住民との協働等の切り口から、行政の在り方を検討・再定義し、機能させることが課題となっている。併せて、実際に行政を動かす政府及び公的セクター人材の能力強化や、能力を発揮できる環境・制度づくりも必要となっている。</p> <p>また、JICAグローバル・アジェンダのうち「ガバナンス」の中で、「自由、民主主義、基本的人権の尊重、法の支配」等の普遍的価値を実現し、一人ひとりが人間として尊重される社会を目指すこととした。その目的の実現に向けて適正な行政サービスの実施に協力するための方針として、「公務員及び公共人材の能力強化」のクラスターを設定し、今後具体的な事業戦略を検討する予定である。</p> <p>上記認識を踏まえ、今般、途上国の状況を踏まえて同クラスターの妥当性を検証するとともに、クラスターの中長期的な達成目標(成果指標)の設定や目標達成に必要な具体的な支援アプローチ及び支援リソースの検討のため、本調査の実施を決定した。</p> <p>【業務概要】 (1) 現地調査対象4か国を含む行政分野の課題分析及び行政課題分析 (2) 行政分野に係る過去のJICAや他ドナー支援実績の整理 (2) 「公務員及び公共人材の能力強化クラスター」の検証 (3) 支援方針・手法に係る提言の策定</p> <p>【業務担当分野一覧/評価対象者】 ・業務主任/行政/協力方針策定(評価対象者) ・政治・行政分析 ・公務員制度 ・行政DX</p>			留 意 事 項	<p>【人月合計】 約11.28人月(現地業務:3.63人月、国内業務:7.65人月)</p> <p>【その他留意事項】 ・本件契約には、調査業務用の契約約款が適用されます。 ・本調査では、従来のJICA行政分野に協力実績のある、各専門領域の有識者からの意見を聴取し、助言を受ける体制を予定しています。有識者はJICAが指定する予定です。 ・比較研究の対象国は、バングラデシュ、モンゴル、コートジボワール、及び提案によるもう1か国を加えた4か国の予定です。 ・コートジボワール大アビジャン圏外への渡航を想定するため、紛争影響国・地域における報酬単価を適用する予定です。 ・コートジボワールでは、安全対策上、JICAが指定する宿泊施設以外への宿泊は認められません。このため、宿泊料については、格付の号を問わず、一律15500円/泊の定額で見積もっていただく予定です。 ・バングラデシュにおいては、安全対策上、JICAが指定する宿泊施設以外への宿泊は認められません。このため、4~6号の従事者については、13500円/泊の定額で見積もっていただく予定です。特号~3号についてはガイドラインで定める宿泊費から変更ありません。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(12月14日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 11月2日以降の公示、12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	22a00827000000	調達件名	全世界2023年度一般文化無償資金協力機材計画調査 (QCBS)		
	公示日(予定)	2023年1月11日	担当部課	人間開発部基礎教育グループ	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】協力準備調査(無償資金協力)
	履行期間(予定)	2023年3月23日 ~ 2023年11月30日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】一般文化無償資金協力は、途上国の政府機関に対し、文化・高等教育振興のための資機材の購入や施設の整備を支援することを通じて、開発途上国の文化・教育の発展及び日本とこれら諸国との文化交流を促進し、友好関係及び相互理解を増進させることを目的としている。2022年度に要望が挙げられた中から、以下の3案件について実施可能性が高いと判断され、調査を実施することとなった。</p> <p>(1) モンゴル「チンギスハーン博物館機材整備計画」</p> <p>(2) エジプト「教育文化センター機材整備計画」</p> <p>(3) ボスニア・ヘルツェゴビナ「国立博物館デジタルアーカイブ基盤整備計画」</p> <p>【目的】対象案件について、要請の背景、目的及び整備機材の内容等を把握し、開発効果、技術的妥当性を検討の上、必要かつ最適な事業内容・規模につき概略設計(概略事業費の積算を含む)を行うとともに、事業の成果・目標を達成するために必要な相手国側負担事項の内容・実施スケジュールや、整備機材の運用・維持管理等の留意事項等を整理する。</p> <p>【活動内容】</p> <p>(1) 以下の事項の確認: 要請の背景・目的・概要、要請機材内容、機材の運用・維持管理計画、対象案件実施後の広報計画、先方の実施体制、免税・通関手続</p> <p>(2) 要請機材内容に係る妥当性等の調査及び資金協力本体事業の内容検討</p> <p>(3) 相手国負担事項の確認及び整理</p> <p>(4) 協力の効果及び関連情報の収集および提案</p> <p>(5) ミニッツ協議</p> <p>(6) 調査結果取りまとめ、各種成果品の作成(積算内訳書、機材仕様書を含む)</p>			留 意 事 項	<p>【業務担当分野一覧・そのうちの評価対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務主任者/機材計画(3号)(評価対象予定) ・機材調達/積算 ・設備計画 <p>【人月合計】12.98人月(現地4.83人月、国内8.15人月)</p> <p>【その他留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地調査は各国1回のみ。現地調査の団長はJICA在外拠点の者が務める。(JICA本部からの現地調査参加予定はなし。) ・上記「担当分野」は、同一の業務従事者が全案件を担当することを意図したのではなく、対象国ごとに案件の内容に応じた「機材計画」及び「機材調達/積算」の調査団員の配置を想定。業務主任者はいずれかの国(少なくとも1カ国)での現地調査に従事すること。 ・「設備計画」団員はエジプト案件に追加で配置することを想定。 ・全案件について、2023年11月閣議を想定する。 	

コンサルタント等契約(業務実施)(12月14日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 11月2日以降の公示、12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	22a00584000000	調達件名	ドミニカ共和国非感染性疾病予防・管理のためのプライマリ・ヘルス・ケア強化プロジェクト		
	公示日(予定)	2023年1月18日	担当部課	人間開発部保健第一グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト
	履行期間(予定)	2023年4月6日	～	2027年5月31日	選定方法	企画競争
業 務 内 容	<p>【背景】 ドミニカ共和国における保健政策の主軸は、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ達成に向けた保健医療政策であり、その基礎はプライマリ・ヘルス・ケア（PHC）の推進である。これは、予防、教育、治療と住民参加によるヘルスプロモーションにより健康な地域づくりを目指すものである。ドミニカ共和国では新生児死亡やHIV/AIDSが減少したのに対し、虚血性心疾患や糖尿病、慢性腎臓病等が大幅に増加しており、このような非感染性疾病（NCDs）による死亡は、全死因の約75%を占めている。しかしながら、これらNCDsに対する政策や規制は未整備の部分が多く、医療従事者側のNCDsに関する知識や経験不足により症状が管理されていないことや、住民のNCDsのリスクに関する知識、自身の罹患の認識不足が指摘されており、適切な検査や診療が受けられずにいることが分かっている。このような中、ドミニカ共和国保健省は、PHCを主眼とした地域医療体制の強化が重要であるとし、NCDsに関する一次医療施設の管理能力、診療の質の向上、ヘルスプロモーションといった一連の技術的な支援を求めている。</p> <p>【目的】 本事業は、対象地域において、NCDsの予防・管理サービスの提供にかかる一次医療施設の能力が向上し、PHCサービスにかかるモニタリング、監督、評価が強化されることにより、NCDsに関するPHCサービス提供の改善を図り、もってNCDsに関するPHCサービス利用者の健康の改善に寄与するものである。</p> <p>【期待される成果】 1.優先NCDsに関する予防・管理サービスの提供にかかる一次医療施設の能力が向上する。 2.優先NCDsに関するPHCサービスにかかるモニタリング、監督、評価が強化される。</p>			留 意 事 項	<p>【担当分野/評価対象者】 業務主任/保健システムマネジメント（評価対象予定） プライマリ・ヘルス・ケア/非感染性疾病対策（評価対象予定）</p> <p>【人月合計】 約64人月（現地58人月、国内6人月）</p> <p>プレ公示の内容は若干の変更可能性があります。</p> <p>・契約履行期間の分割 本事業は2023年4月に開始し、2027年3月の終了を予定している。以下の通り、2つの期間に分けた業務実施を想定している。</p> <p>第1期：2023年4月～2024年3月 第2期：2024年4月～2027年5月</p> <p>・二段階技プロ方式にて実施予定。 ・R/D署名締結済 ・若手育成加点適用予定。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(12月14日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 11月2日以降の公示、12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	22a00429000000	調達件名	ブラジル国アグリフードチェーンにおけるイノベーション・エコシステム及び持続可能性強化のための精密・デジタル農業共創プロジェクト(実施フェーズ)		
	公示日(予定)	2023年1月18日	担当部課	経済開発部農業・農村開発第一グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト
	履行期間(予定)	2023年4月17日	～	2026年3月27日	選定方法	企画競争
業 務 内 容	<p>【背景】 ブラジル連邦共和国は、国土の約28%にあたる約23,688万haの農用地(2019,FAO)を擁すると同時に世界最大の熱帯雨林アマゾンに有する。従来型の農業開発による農牧業地の拡大は、熱帯雨林への開発圧力の高まりにもつながっており、環境面に対する負の影響を抑えた持続可能な農業開発が求められている。近年ではAI、ビッグデータ等の技術革新が進み、農業分野へも影響を与えている。これらの技術を統合・活用した農業として精密農業が、ブラジルにおいても技術開発が進められているものの、依然として複合的データを活用した技術開発の進展は限定的である。このような状況下で、ブラジル政府から日本政府に対して本プロジェクトが要請された。</p> <p>【目的】 当該プロジェクトに係るR/Dに基づき業務(活動)を実施することにより、期待される成果を発現し、プロジェクト目標「日・ブラジル間の官民連携を通じ、精密・デジタル農業の発展が促進される」を達成する。</p> <p>【活動内容】 農業の環境的・経済的持続性の向上を目指し、ブラジル側の主体性を尊重しながら支援を行い、以下の成果に係る活動を実施する。 1、イノベーション・エコシステムに向け、持続可能な精密・デジタル農業を実現する人材・技術・情報交換の環境が醸成される。 2、イノベーション・エコシステム促進により、農業デジタルプラットフォームが改善される。 3、各分野(作物、畜産、アグロフォレストリー)の特定技術の実証事業を実施して精密・デジタル農業データの利用可能性が確認される。 4、本プロジェクトの総合的ナレッジが農業イノベーション・エコシステムへ普及される。</p>			留 意 事 項	<p>【業務担当分野一覧・そのうちの評価対象者】 (1) 業務主任者/精密・デジタル農業(評価対象予定) (2) 農業ICT(評価対象予定) (3) イノベーション・エコシステム構築</p> <p>【人月合計】38.5人月(現地32.50人月、国内6.00人月)</p> <p>【その他留意事項】 ・本案件は、2021年4月27日に著名済みのR/Dに基づき、計画フェーズと実施フェーズと2段階に分けて実施中の技術協力プロジェクトである。実施フェーズに対応する本業務は、詳細計画策定調査にて合意した協議議事録(人月:Minutes of Meeting)に沿って活動を実施する。 ・本案件は以下の2期に分けて契約を行うことを想定していません。 第1期:2023年4月～2024年9月 第2期:2024年10月～2026年3月</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(12月14日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 11月2日以降の公示、12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

★	調達管理番号	22a00236000000	調達件名	ヨルダン国マアン県給水システム改善計画準備調査(QCBS)		
公示日(予定)	2023年1月18日		担当部課	地球環境部水資源グループ	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】協力準備調査(無償資金協力)
履行期間(予定)	2023年3月30日 ~ 2023年11月30日		選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 ヨルダン水資源が世界で最も少ない国の1つである一方、水需要量は増加を続けており、効率的な水利用が求められている。マアン県の水道普及率は78%を達成する一方、給水状況をモニタリングできていないこと等から、給水サービスレベルが低く無収水率も高い。そのため、主要水道施設に流量計・水圧計・水位計等を設置し、中央監視室で常時モニタリングすることで最適な給水管理を可能とするSCADAシステムの設置は、同県の無収水率の改善と給水サービスの向上のためには急務となっている。</p> <p>【目的】 無償資金協力の活用を前提として、プロジェクトの背景、目的および内容を把握し、効果、技術的・経済的妥当性を検討のうえ、協力の成果を得るために必要かつ最適な事業内容・規模につき概略設計を行い、概略事業費を積算するとともに、プロジェクトの成果・目標を達成するために必要な相手国側分担事業の内容、実施計画、運営・維持管理等の留意事項などを提案することを目的とする。</p> <p>【業務内容】 ・第一回現地調査：水セクターの現状、政府・他ドナー等の最新の関連開発計画の確認、概略設計や報告書案の作成等に必要調査・協議、情報収集。 ・国内解析作業：概略設計の策定、概算事業費の積算、準備調査報告書案等の作成。 ・第二回現地調査：調査報告書案や先方負担事項等に関して、先方関係者に説明・協議。</p>			留 意 事 項	<p>【担当分野/評価対象者】 ①業務主任者/上水道計画(評価対象) ②配水計画 ③SCADAシステム設計(評価対象) ④SCADAシステム運用 ⑤電気・計装設備(評価対象) ⑥機械/気候変動 ⑦施工・調達計画/積算</p> <p>【人月合計】 約18.5人月(現地9.0人月、国内9.5人月)</p> <p>【その他留意事項】 現地業務時期：第一回は2023年5月上旬から6月中旬、第二回は2023年8月下旬を想定。宿泊費特別単価の適用国となります。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(12月14日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 11月2日以降の公示、12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	22a00751000000	調達件名	全世界2025年大阪・関西万博に向けた途上国の参加促進に係る情報収集・確認調査(QCBS)		
	公示日(予定)	2023年1月18日	担当部課	企画部イノベーション・SDGs推進室	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】基礎情報収集・確認調査
	履行期間(予定)	2023年3月30日	～	2024年7月29日	選定方法	企画競争
業 務 内 容	<p>【背景】 2025年開催予定の大阪・関西万博は「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げ、「SDGs達成・SDGs+eyondへの飛躍の機会」を開催の意義の一つとして掲げていることから、通称「SDGs万博」とも呼ばれている。 大阪・関西万博に参加表明のあった開発途上国は、各国が割り当てられる共同館のサブテーマ(saving life、empowering life、connecting life)に沿った形で、各国の文化・観光資源紹介にとどまらず、EXPO for SDGsという大阪・関西万博の目的に鑑み、各国のSDGsの達成に向けた課題、達成加速化に貢献する日本のODA事業、ポストSDGsで目指すべき世界の目標等について、来場者の理解を促進するための出展企画が求められている。 我が国は、大阪・関西万博誘致時の政府公約(約240億円)に基づき、独自出展が困難な開発途上国に対する支援プログラムを提供する予定としており、その一環として、自国の魅力と我が国ODAの貢献を効果的に発信するための情報収集が求められている。</p> <p>【目的】 本調査は、大阪・関西万博に出展する途上国を対象に、自国の魅力と我が国ODAの貢献を効果的に発信するための情報収集を行い、もって途上国のSDGs達成の加速化、国内外に対する我が国ODAの理解促進に寄与するもの。</p> <p>【活動内容】 対象国(約100カ国)に対する①各国関係者の本邦招へい、②調査団現地派遣、等を通じた各国のSDGs達成に向けた課題と現地リソースの把握</p>			留 意 事 項	<p>【業務担当分野一覧・そのうちの評価対象者】 ・業務主任者/出展企画プロデュース(評価対象予定) ・出展企画作成支援:共同館(1)(評価対象予定(対象国経験・語学評価なし)) ・出展企画作成支援:共同館(2) ・出展企画作成支援:共同館(3) ・出展企画運営支援:本邦招へい企画 ・展示・施工計画作成支援:共同館(1)(評価対象予定(対象国経験・語学評価なし)) ・展示・施工計画作成支援:共同館(2) ・展示・施工計画作成支援:共同館(3) 【人月合計】約40人月(内訳等検討中) 【その他留意事項】 ・本件は、国会での補正予算成立を前提として公示・公募を実施している。 (国会での補正予算成立見込み時期:11月下旬~12月上旬) ・契約履行期間の分割: 本調査は2023年3月に開始し、2024年7月の終了を予定している。 以下の通り、2つの期間に分けた業務実施を想定している。 第1期:2023年3月~2024年2月 第2期:2024年3月~2024年7月 ・本件は、公告・公示日に先立ち、意見招請もしくは業務説明会の開催を予定している。 ・公示予定日を変更しました(1月11日⇒1月18日) (12/7)</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(12月14日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 11月2日以降の公示、12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	22a00760000000	調達件名	フィリピン国統合水資源管理アドバイザー業務		
	公示日(予定)	2023年1月25日	担当部課	地球環境部水資源グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト
	履行期間(予定)	2023年3月22日	～	2025年3月21日	選定方法	企画競争
業 務 内 容	<p>【背景】 フィリピンは、1990年代より水不足の問題が指摘されてきたが、人口増加や経済発展により水需要は年々増大する中、実施体制や財源不足等の課題により水不足が問題となっている状況である。2019年には、エルニーニョ現象の影響による少雨によって水不足が深刻化し、大きな社会問題となった。マニラ首都圏でも断水が行われ、フィリピン全81州のうち41州において干ばつ被害が広がり、農業や養殖漁業が影響を受けた。 このような背景を踏まえ、次期フィリピン国家開発計画の水資源分野の文書・法令等への政策的助言、統合水資源管理マスタープラン策定・実施に対する支援を、技術面と機能的な体制を形成するための支援の両面から行う事により、当該分野の職員の能力向上を図り、もってフィリピンの持続的かつ包括的な統合水資源開発・管理に資することを旨とし本業務を実施する。</p> <p>【目的】 フィリピン開発計画(水資源分野部分)の策定、効果的な統合水資源管理の実施のための政策文書、研究、データ管理方法論の準備、およびマスタープランの策定に関する国家経済開発庁(NEDA)と国家水資源委員会(NWRB)の能力が強化される。</p> <p>【業務内容】 1、フィリピン開発計画(水資源分野部分)の策定と更新に関する助言(主導機関:NEDA) 2、水資源管理に中心的役割を担う新たな機関やNWMC(National Water Management Council)の設立、効果的な統合水資源管理の実践に向けた計画、政策立案等のための水資源セクターに関連する政策文書、研究、データ管理方法論の準備について助言する(主導機関:NEDA) 3、統合水資源管理のためのマスタープランの策定と実施に関する助言(主導機関:NWRB)</p>			留 意 事 項	<p>【担当分野/評価対象者】 (1)業務主任者/組織・制度(評価対象) (2)水文/水資源計画(評価対象)</p> <p>【人月合計】 約17.8人月(現地約16人月、国内約1.8人月)</p> <p>【その他】 ・本業務は、本契約とは別の短期専門家(統合水資源管理)1名と協働して実施する想定。 ・本業務に係る契約には、事業実施・支援業務用契約約款を適用し、契約で規定される業務が国外で提供される契約、すなわち国外取引として整理し、消費税不課税取引とすることを想定(企画競争説明書に最終的な取扱いを記載)。 ・プレ公示の内容は若干変更になる可能性があります。</p>	

コンサルタント等契約(業務実施)(12月14日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 11月2日以降の公示、12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	22a00055000000	調達件名	フィリピン国下水道整備のための包括的マスタープラン策定プロジェクト			
	公示日(予定)	2023年2月22日	担当部課	地球環境部環境管理グループ	業務種別	業務実施契約ー【事業実施・支援業務】開発計画調査型技術協力(技術協力プロジェクト)	
	履行期間(予定)	2023年5月17日 ~ 2026年5月15日	選定方法	企画競争			
業 務 内 容	<p>【背景】 フィリピンでは、公共事業道路省(Department of Public Works and Highways)が国家下水道・腐敗槽汚泥管理計画(National Sewerage and Septage Management Program)を策定し、地方自治体等による下水・腐敗槽汚泥処理を推進している。他方、フィリピン第2の都市圏であるメトロセブにおいては、下水道は整備されておらず、地方自治体による下水・腐敗槽汚泥処理は適切に行われていない状況であり、水環境の水質汚濁や水系感染症が確認されている。かかる背景の下、メトロセブの都市開発計画として承認されているメガセブ・ロードマップ2050において中長期的な目標としている下水道整備を実施するための支援が要請された。</p> <p>【目的】 本プロジェクトに係るRDに基づき、以下に挙げる期待される成果を発現するための活動(業務)を実施し、公衆衛生環境の及び水質汚濁の改善に寄与する。 1.メトロセブにおける包括的マスタープランを策定するにあたり必要な基礎情報が整理される。 2.メトロセブにおける汚水の集中型及び分散型処理並びに腐敗槽汚泥処理を含めた包括的マスタープランが策定される。 3.包括的マスタープランで選定された優先プロジェクトの資金調達手法が提示される。 4.包括的マスタープランで選定された優先プロジェクトのPre-FSが実施される。 5.メトロセブ水道区の汚水管理に係る計画策定能力が強化される。</p> <p>【対象地域】 メトロセブ水道区が事業を実施している区域に含まれる8地方自治体</p>			留 意 事 項	<p>【業務担当分野、評価対象者】 1.業務主任者／総合的汚水処理計画(評価対象) 2.下水道計画／管きよ計画(評価対象) 3.腐敗槽汚泥収集計画 4.汚水処理施設計画／腐敗槽汚泥処理施設計画／汚泥資源利活用計画(評価対象) 5.施設設計 6.運営・維持管理計画 7.施工・調達計画／積算 8.組織運営・制度 9.経済・財務分析 10.自然状況調査 11.環境社会配慮／住民啓発</p> <p>【人月合計】 約62人月(現地49.5人月、国内12.5人月)</p> <p>【その他留意事項】 ・2023年2月下旬にRD署名予定。但し、遅延の可能性有。</p>		

コンサルタント等契約(業務実施)(12月14日)

注1) これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期等を変更する可能性があります。あらかじめご承知おきください。新型コロナウイルス感染拡大の影響による渡航制限措置等により、履行期間や現地業務期間に変更が生じる場合があります。

注2) プレ公示に関するお問合せは、以下のリンク先をご覧ください(https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/answer_202108.html)

注3) 公示日(予定)の上欄に「★」がある案件は、記載の公示日(予定)にむけ、調達準備手続きを開始した案件を指します。

注4) コンサルタント等契約の直近の制度変更についてはJICAウェブサイト「調達情報>お知らせ」を適宜ご確認ください。(<https://www.jica.go.jp/announce/information/index.html>)

注5) 価格開封会及び入札会は「電子入札システム」を通じて行います。(JICAウェブサイト電子入札ポータルサイト:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/ebidding.html>)

注6) 11月2日以降の公示、12月中旬以降の新規契約締結分につき、原則、契約書への電子署名を導入します。(https://www.jica.go.jp/announce/information/20221021_01.html)

	調達管理番号	22a00778000000	調達件名	フィリピン国GX施策推進のための情報収集・確認調査(国内業務主体)(QCBS)		
	公示日(予定)	2023年2月22日	担当部課	東南アジア・大洋州部東南アジア第五課	業務種別	業務実施契約ー【調査業務】基礎情報収集・確認調査
	履行期間(予定)	2023年4月26日 ~ 2024年3月15日	選定方法	企画競争		
業 務 内 容	<p>【背景】 フィリピン政府は、パリ協定を踏まえ、2021年4月にNDC(Nationally Determined Contribution)を国連気候変動枠組み条約事務局に提出し、2020年から2030年までのBAU(Business As Usual)シナリオにおける累計排出量に対して、エネルギー、産業、農業、廃棄物の分野において、自助努力による3%、先進国からの支援による72%、計75%を削減する目標を掲げた。しかしながら、上記分野において再生エネルギーの普及や埋立処分場の改善など、気候変動対策は確認できるものの、拡大・深刻化する課題に取り組みが追い付いていない状況にある。さらに隔年更新報告書の未提出に加え、2024年末の隔年透明性報告書の提出に向けては、GHGインベントリ算出における各関係機関のキャパシティのアセスメント等が必要とされている。</p> <p>【目的】 本調査では、各関係機関の現状や気候変動対策に係る政策・法制度等の状況を整理するとともに課題を抽出・分析し、パリ協定実施(体制・制度改善)のための取組と、具体的な緩和・適応策の両面において、短期・中長期的な観点から個別・横断的な協力可能性を検討する。</p> <p>【活動内容】 (1) 気候変動対策に関する情報収集・分析(フィリピン政府の政策・法令・課題・ニーズ、資金・基金の活用・アクセス状況、ドナーの動向、民間部門の課題・ニーズ等) 各政府機関等が策定した気候変動対策に関する中長期の取り組み計画・方針等の整理・統合。短期・中長期プログラムの策定に使用する分析手法の検討および課題抽出とその分析。 (2) 短期協力プログラム案の策定(緊急性の高い課題に対する個別事業案を策定) (3) 中長期協力プログラム案の策定(フィリピン政府のNDCやその他気候変動対策に関連する政策の実現に向けて、個別事業案とともに、JICAのスキーム及び他のリソースの動員も含めた複合的な解決案を策定)</p>			留 意 事 項	<p>【業務担当分野一覧】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務主任者/協力プログラム策定(評価対象予定) ・経済分析 ・気候変動対策(透明性)(評価対象予定) ・エネルギー ・産業 ・農業 ・森林・自然環境 ・都市環境 <p>【人月】 合計約26人月(国内18人月、現地8人月)</p>	